

群馬大学医学部附属病院改革委員会（第5回）について

このことについて、下記のとおり開催いたしましたので報告いたします。

記

【日 時】 平成27年 8月27日（木） 15時57分～17時31分

【場 所】 東京ガーデンパレス

【出席委員】 木村委員長、味木委員、伊藤委員、川崎委員、
小松原委員、宮坂委員、山口委員

【本学出席者】 平塚学長、和泉理事、後藤理事、田村病院長ほか

【審議事項】

○ 前回の議事要旨の確認があった。

(1) 中間まとめの検討について

○ これまでの委員会の意見をもとに、まとめた内容について、大学から説明があった。

○ その後意見交換が行われた。

【主な意見】

○ガバナンスとマネジメントの定義を明確にして使い分ける必要がある。例えば、組織としてのガバナンスの意味で、マネジメントは個人ものとしてはどうか。

○問題は3つあり、①低質な医療が行われていたこと。②すでに改革されつつある制度面は、今後継続的に行えるか。③他人の仕事に口を挟まない風土。である。

○閉鎖的に行われていたことが問題であり、風通しをよくするにはチーム医療が必要。

○いずれの大学病院も多忙の中、問題を起こさないのは、起きにくいしくみがあるからである。

○改善に向けて、一番やらなければならないのは風土改革であり、そのためにどうするべきかを示す必要がある。

○外部評価をされるために、自己評価ができることが大変重要となる。

○医療の質の管理はどこの大学も大変であり、評価と人材確保が重要となる。

次回は本日の意見を踏まえて、議論をとりまとめていくこととなった。

(2) 今後のスケジュールについて

事務局から説明があった。

(3) その他

本日の議事概要については、前回確認したとおり、群馬大学のホームページで公表することとした。

注) 現在、委員に確認中のため、内容が変更となる場合があります。